科目ナンバリング					
授業科目名 <英訳>	アラビア語ＩＡ（文法） A1102 Primary Arabic A		担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	岡　真理
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・ 開講期	2024・前期	曜時限	金5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

アラブ世界の共通語である現代標準アラビア語（正則アラビア語：フスハー）の基礎文法を学びます。セム系言語であるアラビア語の特徴を理解し、基本的な単語について辞書が引けるようになると同時に、アラビア語の社会言語学的、歴史言語学的性格や、現代アラブ世界の文化や社会の諸相についても学びます。

[到達目標]

辞書を引いて、簡単なアラビア語の文章が読めるようになることを目指します。

アラビア語は、基礎文法を修得していないと辞書が引けません。アラビア語Iでは、アラビア語の現代文を読めるようになるための前提として、基本的な単語に関して、自分ひとりで辞書が引けるようになることが目標です。

具体的には、前期の授業では、
１）アラビア語の基本構文の修得、
２）セム系言語の特徴である「３語根」について理解し、基本形動詞から派生した名詞や形容詞、分詞に関して、辞書を引けるようになること、
３）動詞の完了形、未完了形、派生形の修得、
４）日常の挨拶
５）基本的な文章を読み、書き、話すことができるようになること
を目指します。

[授業計画と内容]

アラビア文字の読み方・書き方、発音からスタートし、基本的な文法事項を学習していきます。概ね教科書の順番どおりですが、教科書では、半ば（第７課）まで進まないと「動詞」が出てきませんので、動詞に関しては、第３回目の授業から、名詞文と並行して学習します。

基礎的な文法事項の学習は前期前半で終え、後半は、動詞の活用変化を理解し、覚えることに主眼がおかれます。また、後半から、講読用のテクストもあわせて用いながら、既習の文法事項を復習・確認すると同時に、動詞の活用を実践的に学習します。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

アラビア語ＩＡ（文法） A1102(2)へ続く↓↓↓

アラビア語ＩＡ（文法） A1102(2)

[成績評価の方法・観点]

授業への積極的参加度、課題への取り組み方、小テスト（随時）および期末テストから、総合的に判断します。成績評価基準の詳細については授業中に指示します。

前期期末テストでは、規則動詞完了形、未完了形、Ｋａｎａの完了形、未完了形、未完了短形、動詞派生形（II～Xの完了形、未完了形、動名詞）の活用の修得を合格の必須条件とします。

[教科書]

黒柳恒男、飯森嘉助 『現代アラビア語入門』（大学書林）ISBN:978-4475018388

[参考書等]

（参考書）

『The Hans Wehr Dictionary of Modern Written Arabic』

授業では毎回、辞書の引き方を指導します。
重たいですが、毎回、必ず、辞書を持参してください。

[授業外学修（予習・復習）等]

前期前半は、とにかく覚えるべき文法事項が多いので、復習が重要です。
しっかり復習し、記憶に定着させましょう。授業の前の日だけ１時間学習するよりも、毎日１０分、学習する方が、語学は効果があります。
後半は、テクストを講読しますので、予習も重要になります。かならず予習して臨みましょう。
また、テクストを繰り返し、声に出して、音読しましょう。

[その他（オフィスアワー等）]

語学はスポーツと同じです。日々の練習（学習）の積み重ねが何よりも大切です。アラビア語は決して超難解な言語ではありませんが、テスト前の俄か勉強だけで対処できるほど甘い言語でもありません。英語とは文字も異なりますので、時間をかけて慣れ親しむことが必要です。また言語系統も異なりますので、授業で説明を聞かずに一人で教科書を読んだだけでは、理解できない事柄も多いと思います。授業の進行速度も速いので、授業には欠かさず出席することが大切です。
とはいえ初めのうちは授業に出ていても、分からないことだらけだと思います。学習を続けていくうちに、アッラーの思し召しがあれば、しだいに分かってくるでしょう。スポーツと同じで、最初のうちは楽しいことよりしんどいことの方が多いと思いますが、そのうち、しんどさも含めて楽しくなってきますので、諦めずにがんばってください。